

4月19日からも高温が続く見込みです！ (仙台区気象台 4/11)
日中は保温より高温回避優先の育苗管理を！

1 育苗期の温度管理

晴天時の育苗ハウス・トンネルやビニルを更新した育苗ハウスはかなりの高温になります。温度計を設置して、適温範囲となるようハウスのサイドやトンネルの裾はしっかり開放しましょう。遮光資材の活用も効果的です(ただし苗の徒長や根張り不良を避けるため、遮光資材の掛けっぱなしはやめましょう。)



表-1 苗生育段階ごとの管理

生育段階	所要日数	昼間	夜間	管理の目的・ポイント
出芽期 (ハウス ~0.8葉) (トンネル ~1.0葉)	無加温 6日程度 加温 2日程度	30~32°C		左記葉齢になったら速やかに被覆資材を剥ぐ。無加温では、出芽を揃えるために保温資材で部分的に被覆するなど、こまめな温度管理を行う。
緑化期 ~1.0葉	3日程度	25°C	15°C	遮光資材等を用い、弱い光で苗を徐々に緑色にする。
硬化期 1.5葉~	移植前日まで	20~25°C	8°C以上	苗を外気に慣らす。低温時以外は被覆資材を用いない。田植え1週間前頃からは夜間もハウスやトンネルを開放し、更に外気に慣らす。

○かん水は朝のうちにたっぷりと。夕方以降のかん水は床土温度を下げしまい、ムレ苗等の原因となります。

○追肥は、稚苗育苗で 1.8 葉期に、中苗育苗で2葉期と3葉期に1箱当たり窒素成分で1g施用します。

2 プール育苗のポイント

1. 5葉期になったら入水します。入水以降は下記表-2のように管理します。

表-2 プール育苗を行う際の水管理と温度管理

生育ステージ	水管理	温度管理
1.5~2葉期	1回目入水。水没しないよう、培土の高さまで。ただし、低温・降霜注意報が出されたら、箱の上まで湛水して保温する。	夜間5°C以上なら 昼夜とも ハウス開放 低温降霜時は閉める
2葉期以降	常時湛水。水深は箱の上1cm程度にする。ただし、最大でも苗丈の半分以下の水深にする。	
田植え前日	運搬しやすくするため、前日の夕方には排水する。	

肥料(例)	N%	現物量/箱
液肥2号	10	10g
硫安	21	5g

○追肥を行う場合は、入水前 1.5 葉期に全面散布(翌日以降湛水)、もしくは入水後 1.8 葉期に前日から落水して全面散布します。

○プール育苗では水の保温効果のため苗が伸び易くなります。そのため、ハウス内の温度は慣行育苗より低めに管理します。

3 育苗中の病気に注意

過度な高温・低温・過湿等は、病原菌の発生を助長するとともに、苗にストレスを与え、病気に対する抵抗力を低下させます。病原菌の発生条件に注意し、適切な温度管理と水管理に努めましょう。

困ったら早めに相談！

表-3 苗の病害についての病原別の特徴

病原菌	主な症状	発生条件	注意点と防除例
フザリウム	白～淡紅色のカビが発生	緑化期の低温	低温を避け、適切な温度を保つ タチガレン液剤の使用
ピシウム	出芽後の芽、根の枯死 「ムレ苗」の発生		
リゾプス	種子、芽の周辺に白いカビ 根の伸長停止、葉の黄化	出芽時の高温、多湿 過度の厚播	33℃以上の高温、多湿にしない ダコニール1000の使用
トリコデルマ	青緑色のカビが発生	低pH、緑化開始時の低温	ダコレート水和剤の使用
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2葉の葉身基部が黄白 化し枯死、坪状の発生	高温、多湿	高温、多湿にしない 発生した場合は苗を処分

※ 農薬を使用する場合は、必ずラベルを読み、使用方法・時期等を確認しましょう。

4 基肥は適量が大切

収量確保、高品質・良食味米生産のために、品種・地力に応じた過不足ない施用が必要です。

基肥不足 → 生育不足(特に茎数)、玄米外観品質低下(胴割粒など) 等

基肥過剰 → 生育過剰(特に茎数)、いもち病や紋枯病の発病、倒伏、玄米タンパク増加 等

表-4 品種別の施肥基準量(N成分 kg/10a)

品種		はえぬき	つや姫	雪若丸	ひとめぼれ	コシヒカリ	ササニシキ
基肥N ※1	高	4.0~5.0	3.0	4.0	4.0	1.5~2.0	3.0~3.5
	中	5.0~6.0	4.0	5.0	4.5~5.0		
	低		4.0を基本とし 1.0を上限に増量	5.0を基本とし 1.0を上限に増量		3.0	3.5~4.0
追肥N ※2		2.0	1.5	2.0	2.5	1.5	1.5

※1 堆肥を施用した場合は1kg程度減肥する。 ※2 生育過剰の場合は減肥する。

- 基肥を耕起後に施用することで、肥料成分が作土層の上部に分布し、稲に効率よく吸収されます。
- 基肥一発肥料を用いる場合は、品種ごとの施肥基準量(基肥+追肥)を超えないようにしましょう。

5 耕起をどんどん進めよう

土の水分が低下して耕起可能となったら、ただちに作業を開始しましょう。耕起終了から代かきまでの間に土の乾燥が進むほど、乾土効果(作土が乾燥することで土壌中の有機体窒素が無機化される)が高まり、イネの初期生育が良好になります。

STOP ! 農作業事故 < 春季農作業事故防止運動 4/10~6/10 >

トラクターの転倒・転落防止 農道走行時は左右のブレーキペダル連結。路面と法面の境は要注意。

農業機械の点検・トラブル対処 絶対!!即!!エンジン停止

あぐりん(アグリネットやまがた)で最新情報を入手!

PC やスマートフォンから、作物別・地域別のタイムリーな技術情報・病害虫・防除・農薬情報をご覧いただけます!

【やまがたアグリネット】

【Facebook】

【Twitter】

